

中高生向けに保育士・幼稚園教諭の魅力を発信！ 令和5年度「横浜幼保プロジェクト」の取組を発表します

保育・幼児教育を担う人材の確保が課題となっている中、横浜市は、市内の保育所・幼稚園の各団体と連携して、将来の担い手を増やすべく、保育士や幼稚園教諭の仕事の魅力を中高生向けに発信する「横浜幼保プロジェクト～ヨコハマ・バーン～」を実施しています。

令和5年度は、横浜市立中学校・高校、神奈川県立高校にPRパンフレット「ヨコハマで幼稚園・保育園・認定こども園のせんせいになろう！」の配付及び同パンフレットを素材として作成したWEB動画の公開を行いましたのでお知らせします。

● 市立中学校・高校、神奈川県立高校にPRパンフレット

「ヨコハマで幼稚園・保育園・認定こども園のせんせいになろう！」の配付

中学生・高校生に保育・幼児教育の魅力を知らせ、将来の仕事の選択肢の一つとして考えてもらうため、パンフレット配付を通じて当プロジェクトのPRを行いました。

※市立中学校・高校、県立高校 291校の進路相談室等に約1,500部を配付

※「保育の魅力発信」授業を実施した、青葉区の市ヶ尾中学校2年生・奈良中学校3年生に配付

※その他、中高生向けの職業体験等で順次配付予定



● WEB動画

「ヨコハマで幼稚園・保育園・認定こども園のせんせいになろう！」を公開



「将来どんなお仕事に就きたい？」という質問に始まり、「そんな君は幼稚園・保育園・認定こども園のせんせいがぴったり！！」という動画です。テンポ良くコミカルな内容にして、中学生・高校生に最後まで視聴してもらえるように工夫しました。

※WEB動画はYouTube上でCMとしても放映しています。

※WEB動画ページ
二次元コード



【WEB動画はこちらから】

・横浜幼保プロジェクトホームページ内

<https://www.yokohamabang.com/>

【参考】「横浜幼保プロジェクト～ヨコハマ・バーン～」について（令和元年10月設立）
・横浜幼保プロジェクト実行委員会委員長 清水 純也（公益社団法人横浜市幼稚園協会会長）
（構成団体：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市私立保育連盟、日本保育協会横浜支部、一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会、公益社団法人横浜市幼稚園協会、横浜市）



お問合せ先

こども青少年局保育対策課担当課長 岡崎 有希 Tel 045-671-4468

横浜幼保プロジェクト実行委員会

令和5年度事務局：公益社団法人横浜市幼稚園協会 事務局長 三瓶 一道 Tel 045-534-8708